

管理者、運用責任者の方は、必ず内容をご熟読ください。

HORNET[®]
Auto Security Systems

BS-700シリーズ

車内置き去り防止安全装置

取扱・取付説明書

BS-700S

BS-700M(緊急通報付)

BS-700C (AIカメラ付)

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はホーネット車内置き去り防止安全装置をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でご使用ください。

なお、本書には保証書が添付されています。安全管理マニュアルと共に大切に保管してください。

ホーネット置き去り防止安全装置は、ヒューマンエラーによる置き去りを防止する上で補助的な役割をするものです。

安全確認は、管理者責任のもとで確実に実施し、本安全装置の機能に依存しないように注意してください。

本安全装置はDC12V専用です。車両のアクセサリ電源がDC24Vの場合は、取付店にご相談の上、市販のDCDCコンバーターを別途お買い求めください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2023年2月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている製品仕様、デザインは、性能向上のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®、MAMORIA GPS®は加藤電機株式会社の登録商標です。

KATO-DENKI等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
製品の特長	7
製品の説明	7
ホーネット車内置き去り防止安全装置とは	7
通信ユニット (MC-8) のご利用開始申し込み	7
緊急通報機能・通信サービスについて	8
緊急通報機能 (緊急通報先メールアドレスの登録)	8
通信サービス (位置情報検索など)	8
同梱物をご確認ください。	9
ホーネット車内置き去り防止安全装置の同梱物	9
基本的な操作方法	10
ブザー停止用リモコン、センサー用リモコン (黒)、管理用リモコン (赤) の操作方法	10
降車時確認式 (アナログによるヒューマンエラー防止機能)	11
自動検知式 (デジタルによる見守り機能)	12
自動検知式 (デジタルによる見守り機能) つづき	13
断線検知機能	14
メンテナンスモード	15
パニックモード (強制アラーム) 【安全管理マニュアル参照】/ハイセキュリティ解除	16
操作方法・確認音一覧	17
リモコンの電池交換方法【493V II (B)、493V II (R)】/リモコンの電池交換方法【495V】	18
安全装置の解除方法/メモリー機能	19
未確認検知および車内センサーの特長	20
未確認検知/超音波センサー/2段階衝撃センサー/AIヒューマノイドセンサー (BS-700C)	20
リモコンの特長	21
ブザー停止用リモコン/センサー用リモコン (黒)/管理用リモコン (赤)	21
その他の機能・特長	22
ブザー音/アラーム音/緊急通報・位置情報/AIカメラによる自動録画/確認音/警告音/迷惑防止回路	22
取り付けに関して	23
取り付け全体イメージ図 BS-700S/700M/700C	23
メインユニットの取り付け/メインハーネスおよび接続全体図	24
(+)12V 電源線の接続/(-)電源線の接続	25
(+)12V イグニッション入力線の接続/茶 (+) アラーム出力線の接続	26
車外アラームの取り付け/車内ブザーの取り付け	27
動作確認LED (青) の取り付け/アンテナの取り付け	28
超音波センサーの取り付け/メインユニット内蔵 2段階衝撃センサーの感度調整	29
断線検知センサー502F/通信ユニット (MAMORIA GPS MC-8) /AIカメラ (HC-220DH-BS) の取り付け	30
オプション (ライト用/リモコン追加用/ブザー停止用/キーレス運動用/音声用/予備電源用)	31
FAQ、トラブルシューティング	32
製品の仕様について	33
製品仕様	33
アフターサービスについて	34
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて	34
保証書について/修理を依頼されるときは/お問い合わせ先	34
保証規定	35

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



危険

- 製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



警告

- エンジンルーム内に車外アラームを取り付けしたままエンジンを洗浄しないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- 本製品の取り付けには正しい車両電装知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障などが発生しても当社では責任を一切負いかねます。
- 本製品を故意に分解・改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切していません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解および改造変更は絶対にしないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は大音量のアラームを使用しています。人やペットが近くにいる時に鳴らさないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



注意

- 本製品のみで車内置き去りを完全に防止するものではありません。ヒューマンエラーによる置き去りを防止する上で補助的な役割をするものです。
- 安全管理は、管理者責任のもとで確実に実施し、本安全装置の機能に依存しないように注意してください。
- 万一、車内置き去りが発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品の車内センサー検知による警告音、アラームは、周囲に異常を知らせるため効果的な大音量で鳴るため騒音などにならないよう、センサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で調整してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。

お取り扱い上の注意

使用上の注意



禁止

- 本製品のメインユニットや付属のハーネスを傷つけたり、破損・加工・無理に引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがありますので注意してください。



ヒント

- 2段階衝撃センサーは、メインユニットを取り付ける位置や車両の剛性などによって感度が大きく変わります。
- 超音波センサーの範囲、向きは、マイク部の設置方法により大きく変わります。



必ずお読みください。

- 本製品の動作に関わらず、犯罪・事故が発生しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 地震、雷、風水害および火災、その他の事故および損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用にて生じた付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社では製品を長く安心してご利用いただくため、セキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めしています。ご登録いただけますと、製品保証の延長を受けることができます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年(動作保証期間は3年または5年)です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので、販売店・取付店までお問い合わせください。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

製品の特長

製品の説明

ホーネット車内置き去り防止安全装置とは

ホーネット車内置き去り防止安全装置BS-700S/BS-700M/BS-700Cは、車内の目視による確認を促し、万一車内に人が置き去りになっても車内センサー・カメラにより検知できる製品です。

降車時確認式(アナログによるヒューマンエラー防止機能)

エンジン停止後に自動的に車内ブザーが鳴りますので、運転手は全ての座席を見回りブザー停止リモコンを押して車内ブザーを停止してください。車内を見回ることを促し車内置き去りを防止できます。万一、運転手が車内ブザーを止めずに降車した場合は、5分後に車外アラームが鳴り周囲に知らせます。車内ブザーを止めるまで5分ごとに30秒間の車外アラームが鳴り続けます。

自動検知式(デジタルによる見守り機能)

降車時確認式とは独立して、エンジン停止後に5分経過すると自動検知式のセンサーが作動を開始します。運転者は自動検知式のセンサーが作動する5分以内に、全ての座席を見回り安全を確認し降車時確認式の車内ブザーを停止してから降車してください。

緊急通報機能・通信サービス(対象機種:BS-700M、通信ユニットMC-8)

車外アラームに連動して緊急通報メール(最大5カ所)を送信できます。この他、スマートフォンやパソコンなどで運用管理画面から位置情報や温度管理などの様々な管理機能がご利用いただけます。

緊急通報機能・通信サービスのご利用開始は、下記の方法で申し込みください。緊急通報機能・通信サービスの申し込みには、セキュリティラウンジオンラインショップの会員登録が必要です。

通信ユニット(MC-8)のご利用開始申し込み

- ① 2次元コードを読み取り申し込みサイトにアクセスします。
- ② セキュリティラウンジオンラインショップの会員登録をします。
- ③ BS-700M通信ユニット(MC-8)のご利用開始申込をします。
- ④ 管理サイトURL、ユーザーID、パスワードが後日メールで届きます。
- ⑤ 管理サイトにログインしてご利用開始できます。

※ 2年目以降のご利用は、セキュリティラウンジオンラインショップにて、通信利用料1年分もしくは3年分をお買い求めください。



申し込みサイト



注意

- 通信サービスはKDDI(株)のネットワークを利用しています。電波の届かない場所や不安定な場所ではご利用いただけません。
- 通信エリア内であっても、車両が地下駐車場などの電波環境によっては通信機能がご利用いただけません。
- 当社またはKDDI(株)の電気通信設備の保守上または工事にやむを得ない時、戦争天変・地変、その他自然災害など予期せぬ事象により電気通信設備を中止する時は、できる限りご利用者様に通知しますが、通知することなく利用が停止される場合があります。

緊急通報機能・通信サービスについて

緊急通報機能(緊急通報先メールアドレスの登録)



ログイン

ユーザーID(半角)

パスワード(半角)

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

[メンテナンスのお知らせ](#)

管理サイトにユーザーID、パスワードを入力してログインします。



ヒント

通信ユニット (MC-8) の管理サイトURL、ユーザーIDおよびパスワードはご利用開始時に届くメールをご確認ください。(詳しくはP7をご参照ください。)

緊急通報先の登録

管理サイトのメニューサイトから緊急連絡先設定をタップしてメールアドレスを入力します。最大5個のメールアドレスを登録できます。

緊急連絡先の設定

緊急時の連絡先を5件まで設定できます。

- ✓ チェックが入っているメールアドレスに送信されます。

必須

※こちらはパスワード再入力時に必要なメールアドレスになります。

✓ 有効

※イメージ画像

通信サービス(位置情報検索など)

位置検索機能

管理サイトのメニューサイトから位置情報検索をタップして位置情報ボタンをタップします。

画面に現在の位置情報がマップ表示されます。

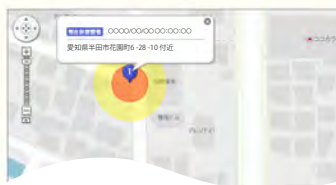
その他の詳細は、商品ページをご参照ください。



商品ページ

MAMORIA GPS選択

位置検索



※イメージ画像

同梱物をご確認ください。

ホーネット車内置き去り防止安全装置の同梱物

設置前に必ず下記の同梱物をご確認ください。

ホーネット車内置き去り防止安全装置BS-700S



メインユニット



車外アラーム



プザー停止用
リモコン
495V



センサー用
リモコン(黒)
493V II (B)



管理用
リモコン(赤)
493V II (R)



メインハーネス



車内プザー



超音波センサー



LEDホルダー



動作確認LED(青)



アンテナ



アンテナハーネス



ステータスディスプレイ

断線検知センサー



安全管理マニュアル

- その他
- ・ステッカー×1
 - ・取扱・取付説明書
 - ・保証書(説明書に付属)
 - ・サービス約款
 - ・取り付け部材(両面テープなど)

ホーネット車内置き去り防止安全装置(緊急通報付)BS-700M

BS-700Mは、BS-700S
に通信ユニットMC-8が
付属された商品です。



通信ユニット MC-8

MAMORIA GPS®

通信ユニットMC-8付属品

- ・メインハーネス
- ・取扱説明書×1
- ・保証書×1

ホーネット車内置き去り防止安全装置(AIカメラ付)BS-700C

BS-700Cは、BS-700Sに
AIカメラHC-220DH-BS
が付属された商品です。



AIカメラHC-220DH-BS

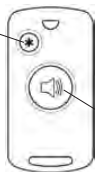
AIカメラHC-220DH-BS付属品

- ・メインハーネス×1
- ・ACアダプタ×1
- ・スピーカー×1
- ・LANケーブル×1、LANケーブル用防水カバー×1
- ・MicroSDカード(32GB)×1
- ・タッピングネジ×3、アンカー×3、ネジ×3
- ・取扱説明書×1
- ・保証書×1

基本的な操作方法

ブザー停止用リモコンの操作方法

使用しません



ブザー停止用リモコン 495V
(特定小電力リモコン)

※画像はイメージです。

センサー用リモコン(黒)の操作方法



センサー作動
センサー解除



AIカメラ作動
(BS-700C)



パニックモード



センサー用リモコン(黒)
493V II (B)
(特定小電力リモコン)

管理用リモコン(赤)の操作方法



センサー作動
センサー解除



AIカメラ作動
(BS-700C)



ブザー停止



管理用リモコン(赤)
493V II (R)
(特定小電力リモコン)

📖 ヒント

- リモコンボタン部は固着しないタクトマイルスイッチを採用し、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。
(動作保証温度：-30℃～+70℃)
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものです。消耗品のため、ご購入後に使用できる期間に差があります。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求めください。495V (電池：CR2450×1)、493V II (電池：CR2032×1)

基本的な操作方法

降車時確認式(アナログによるヒューマンエラー防止機能)

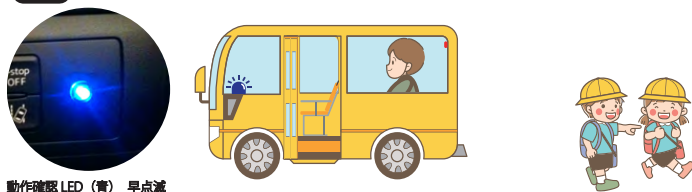
1

エンジン停止後に車内ブザーが鳴りますので、運転手は全座席を見回りながら車両後部まで移動してブザー停止ボタンを押して車内ブザーを止めます。



2

再度、車内の全座席を見回り終えてから降車します。



3

万一、5分以内にブザー停止ボタンを押さずに運転手が降車した場合、車外アラームが鳴り続けます。必ずブザー停止ボタンを押してから降車してください。



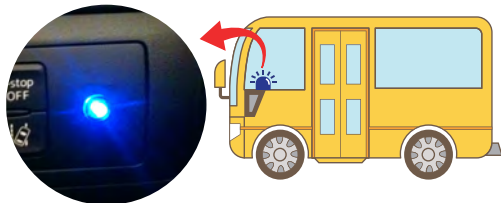
ヒント

ブザー停止ボタンが押されるまで、5分ごとに30秒間車外アラームが繰り返し鳴り、車内の見回りが完了していないことを周囲に知らせます。必ず車内の見回りを行い、ブザー停止ボタンを押してください。

自動検知式（デジタルによる見守り機能）

1

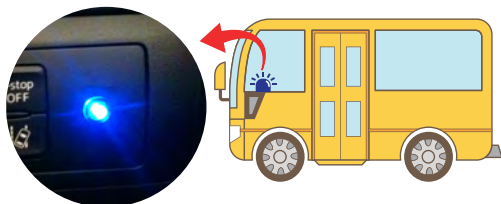
エンジンを停止してから動作確認 LED（青）が早点滅します。運転手は5分以内に全ての座席を確認し、降車時確認式の車内ブザーを停止してから降車してください。



動作確認 LED（青） 早点滅

2

5分経過すると確認音と共に動作確認 LED（青）が通常点滅に変わり自動検知式の車内センサーが作動します。



確認音が鳴った後、
車内センサーが作動
します。

動作確認 LED（青） 通常点滅

3

車内センサーが人の動きや振動を検知すると、車外アラームを鳴らし周囲に知らせます。



動作確認 LED（青） 通常点滅

2段階衝撃センサー

6 音色
最大約 128 dB


基本的な操作方法

自動検知式(デジタルによる見守り機能) つづき

- 4** 車両に乗車する時は、自動検知式による車内センサーが作動しています。エンジン始動もしくはセンサー用リモコン(黒)で車内センサーを解除してから乗車してください。


センサー解除方法

センサー検知なし

- 1 エンジン始動もしくはセンサー用リモコン(黒)の  ボタンを押します。(1秒ほど)
- 2 "ピッピッ"と2回確認音が鳴り、センサーが解除されます。動作確認LED(青)は消灯します。



センサー検知あり

- 1 エンジン始動もしくはセンサー用リモコン(黒)の  ボタンを押します。(1秒ほど)
- 2 "ピッピッピッピッ"と4回確認音が鳴り、センサーが解除されます。動作確認LED(青)は、2回もしくは4回点滅を繰り返します。
※エンジン始動による解除時は、動作確認LED(青)は消灯します。



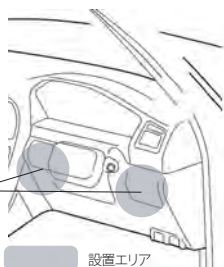
基本的な操作方法

断線検知機能

エンジン始動時に安全装置が正常に動作していることを必ず確認してください。赤色LEDが点灯している場合、車内ブザー、車外アラーム、車内センサーの断線またはメインユニット(制御装置)の電源喪失が発生している可能性があります。

ステイタスディスプレイがエンジン始動時に確認できることを確認してください。

ステイタスディスプレイ



設置エリア

確認方法

- 1 エンジンを始動して、ステイタスディスプレイの状態を確認します。

正常時

ステイタスディスプレイ



正常側の青色LEDが点灯します。

断線検知時

ステイタスディスプレイ



断線検知側の赤色LEDが点灯します。



- 2 確認できたら、青色LEDのボタンを1回(1秒ほど)押します。



- 3 LEDが消灯します。

- 4 赤色LEDが点灯した場合は、安全装置の配線(車内ブザー・車外アラーム・車内センサー)の断線およびメインユニット(制御装置)の電源喪失を検知し警告しています。直ちに製品をご購入の販売店・取付店にお問い合わせしてください。



- 安全装置が異常(断線検知)のまま、本製品を使用しないでください。誤作動の原因になります。
- 必ずメンテナンス作業を依頼し正常であることを確認してからご利用してください。

基本的な操作方法

メンテナンスモード

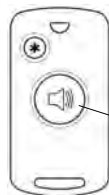
一時的に降車時確認式および自動検知式の作動をキャンセルできる機能です。車両のメンテナンス時や給油時などに利用することができます。

- 1 エンジンを始動してから5秒以内に動作確認LED(青)を押して、そのまま押し続けます。(5秒以上)

動作確認LED(青)



- 2 動作確認LED(青)が早点滅します。車内を見回りながら、1分以内にブザー停止ボタンを押します。



ブザー停止ボタン

- 3 動作確認LED(青)が点灯し、メンテナンスモードに入ったことを示します。

※動作確認LED(青)は、3時間後に自動的に消灯します。



動作確認LED(青)

- 4 エンジンを停止して、給油などを行います。降車時確認式、自動検知式の機能は1回だけ作動しなくなります。



- 5 エンジンを始動すると、メンテナンスモードは終了します。動作確認LED(青)は、消灯します。

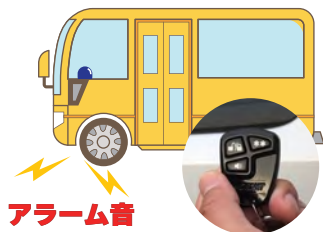
注意

- メンテナンスモードは、メンテナンスや給油時など一時的にキャンセルする必要がある時以外は使用しないでください。管理者の安全管理のもとご利用ください。

パニックモード(強制アラーム)【安全管理マニュアル参照】

センサー用リモコン(黒)のボタン操作で強制的に車外アラームを鳴らすことができます。安全管理マニュアルに従ったメンテナンス確認時や緊急時に異常を周囲に知らせる時に使用します。


- 1 センサー用リモコン(黒)の  ボタンを長押しします。(1.5秒以上)
- 2 車外アラームが30秒間鳴ります。
- 3 車外アラームが鳴っている最中にセンサー用リモコン(黒)の  ボタンを再度押すと、車外アラームが停止します。

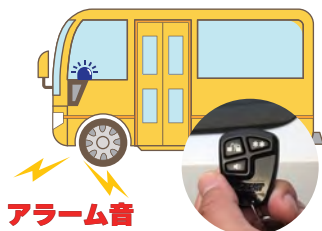


センサー用リモコン (黒)

ハイセキュリティ解除


車外アラームが鳴っている時に自動検知式のセンサーを解除せずにアラーム音のみ止めることができます。センサーが解除にならないため、再度センサーを作動し直す必要がありません。

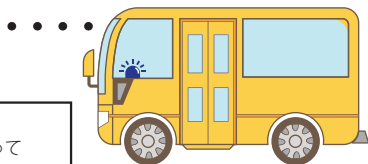
- 1 センサー作動中に車内センサーが検知すると車外アラームが鳴り始めます。
- 2 車外アラームが鳴っている時にセンサー用リモコン(黒)の  ボタンを押すとセンサー作動中のまま車外アラームが停止します。



センサー用リモコン (黒)

ヒント

センサーを解除する場合は、車外アラームが止まってから  ボタンを押してください。
詳しくは P13 をご参照ください。



基本的な操作方法

操作方法・確認音一覧

機能	操作	状態
降車時確認式	エンジン停止	車内ブザー鳴動 動作確認LED(青) 早点滅
車内ブザー停止	ブザー停止ボタン  リモコン(赤)  エンジン始動	車内ブザー停止 動作確認LED(青) 早点滅 エンジン始動による車内ブザー停止は、動作確認LED(青)も消灯
未確認検知	5分以内に ブザー停止ボタン を押さなかった	車内ブザー鳴動 5分間隔で車外アラーム30秒鳴動 動作確認LED(青) 点滅
自動検知式	エンジン停止	動作確認LED(青) 点滅 5分後に車内センサー作動開始
センサー解除	リモコン(黒)  エンジン始動	(車内センサー検知なし) 確認音 2回 動作確認LED(青) 消灯
		(車内センサー検知あり) 確認音 4回 動作確認LED(青) 2回もしくは4回点滅 エンジン始動による安全装置の解除は 動作確認LED(青)は消灯
センサー作動	リモコン(黒) 	確認音 1回 動作確認LED(青) 点滅
断線検知	エンジン始動	ステイタスディスプレイ 正常状態→青色LED点灯 断線検知状態→赤色LED点灯
メンテナンスモード	エンジン始動 動作確認LED(青) ブザー停止ボタン 	動作確認LED(青) 早点滅 ↓ 動作確認LED(青) 点灯

基本的な操作方法

リモコンの電池交換方法【493V II (B)、493V II (R)】

リモコンの電池が消耗した場合は、電池交換してください。
対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。

- ①ビスを外します。
- ②リモコンのフタを↑の方向にスライドさせます。
- ③古い電池をリモコンから外します。
- ④新しい電池を入れます。



- ⑤フタを元に戻しビスを止めます。

ヒント

- ⊕の精密ドライバー等を使用してください。
- 電池の極性に注意してください。＋が上です。



リモコンの電池交換方法【495V】

リモコンの電池が消耗した場合は、電池交換してください。
対応する電池は「CR2450」型のボタン電池です。

- ①ビスを外します。
- ②リモコンのフタを持ち上げます。
- ③古い電池をリモコンから外します。
- ④新しい電池を入れます。



ヒント

- ⊕の精密ドライバー等を使用してください。
- 電池の極性に注意してください。＋が上です。

- ⑤フタを元に戻し、ビスを止めます。



注意

- 交換の際は、リモコンケースを傷つけないよう注意してお取り扱いください。
- 交換前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手で取り扱いください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。
- 不要になった電池は、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

基本的な操作方法

安全装置の解除方法

エンジンを始動することで安全装置を解除することができます。
エンジンを停止すると安全装置は、作動開始します。

- 1 イグニッションをON(エンジン始動)にします。
- 2 安全装置が解除されます。



ヒント

- 降車時確認式による車内ブザー鳴動中においても、イグニッションON(エンジン始動)することで安全装置は、解除され車内ブザーは停止します。
- 自動検知式によるセンサー作動中、車内センサー検知による車外アラーム鳴動中においても、イグニッションON(エンジン始動)することで安全装置は解除され、車外アラームは停止します。
- エンジンを停止することで安全装置は作動開始します。車内の全座席を見回りながらブザー停止ボタンを押してください。詳しくは、P 11～13をご参照ください。
- エンジン始動による安全装置解除時は、メモリー機能の動作確認LED(青)による点滅確認は、ご利用いただけません。

メモリー機能

車外アラームが鳴った履歴が保存されています。センサーを解除した時の確認音と動作確認LED(青)の点滅変化で車内センサーの検知状況を確認することができます。

車内センサーの状況	確認音・動作確認LED(青)
センサー解除時	(車内センサー検知なし/車外アラーム鳴動なし) 確認音 2回「ピッピッ」 動作確認LED(青) 消灯
	(車内センサー検知あり/車外アラーム鳴動あり) 確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED(青) 4回点滅

ヒント

イグニッションON(エンジン始動)およびセンサー用リモコン(黒)、管理用リモコン(赤)で作動/解除操作を行うと、メモリー機能はリセットされます。

未確認検知および車内センサーの特長

未確認検知

降車時確認式の時に、運転手がブザー停止ボタンを押さずに降車した場合、5分後に車外アラームが30秒間鳴ります。ブザー停止ボタンが押されるまで5分ごとにアラームが30秒間鳴り続けます。



ブザー音

リズム音色
最大約 100dB



ブザー音



アラーム音

6音色
最大約 128dB



未確認検知

ブザー停止ボタンがエンジン停止後5分以内に押されていない場合に作動します。

超音波センサー

車内の人の動きを超音波センサーで約4mの範囲で検出することができます。人や物の動きを検知し車外アラームを鳴らします。

ヒント

超音波センサーは、人体に影響の無い低周波音を利用したセンサーです。お子様にも安心してご利用いただけます。



2段階衝撃センサー

強い振動を検知することができます。車内で人が飛び跳ねたり、ガラスを叩くなどの振動を2段階で検知できます。弱い振動には警告音、強い振動には車外アラームを鳴らします。

ヒント

メインユニット(内蔵2段階衝撃センサー)を設置した周辺の振動を検知できます。



AIヒューマノイドセンサー (BS-700C、HC-220DH-BS)

エンジン停止後60分間は、AIカメラにより車内を録画します。AIヒューマノイドセンサーにより、車内の人の動きを検知するとアプリ通知、メール送信(Wi-Fi接続時)でお知らせできます。
※詳しくはAIカメラ付属の説明書をご確認ください。



リモコンの特長

ブザー停止用リモコン

エンジン停止後に鳴る車内ブザーを停止することができる専用リモコンです。リモコンの送信距離は、最大20mです。

⚠ 注意

- リモコン用電池 (CR2450) の動作保証温度は-30℃~+70℃です。ブザー停止リモコンは直射日光が当たらない場所に設置し-30℃以下の環境では利用しないでください。
- 後部座席の上など、お子さまの手の届かない位置に付属の両面テープでしっかりと固定してください。
- 改造やいたずら防止のためケースは特殊ネジで固定されています。
- リモコンボタン部は固着しないタクトイルスイッチを採用し、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。



ブザー停止ボタン

ブザー停止用リモコン 495V
(特定小電力リモコン)

※画像はイメージです。

📖 ヒント

電池消耗時には、市販の「CR2450 (1個)」をお買い求めください。

センサー用リモコン (黒)

センサー専用のリモコンです。IDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信により誤作動することがありません。リモコンの送信距離は、最大20mです。



センサー用リモコン
493V II (B)
(特定小電力リモコン)

管理用リモコン (赤)

管理用のリモコンです。車内ブザー停止やセンサーの解除などほとんどの操作を行うことができます。万一、ブザー停止用リモコンやセンサー用リモコンの操作ができない場合などに使用します。リモコンの送信距離は、最大20mです。



管理用リモコン
493V II (R)
(特定小電力リモコン)

⚠ 注意

管理用リモコン (赤) は、ブザー停止やセンサーの解除などの操作ができるため取り扱いには、十分注意してください。運転者や第三者が使用しないよう管理を徹底してください。

その他の機能・特長

車内ブザー (リズム音色・最大音量約 100 dB)

エンジンを停止すると車内ブザーが鳴ります。車内ブザーのリズム音色は、取付設置時に 4 種類から選択できます。取付設置業者に確認してください。

車外アラーム (6 音色・最大音量約 128 dB)

センサー作動中に車内センサーが検知すると、最大約128dBの大音量の車外アラームが約30秒間鳴ります。降車時確認式でエンジン停止後、5分以内にブザー停止ボタンを押してブザーを停止しなかった場合、未確認検知機能が作動して車外アラームを30秒間鳴らします。ブザー停止ボタンを押されるまで5分ごとに30秒の車外アラームが繰り返し鳴ります。

緊急通報・位置情報 (BS-700M、通信ユニットMC-8)

BS-700Miは、通信ユニットMC-8によりあらかじめ登録したメールアドレス (最大5ヶ所) に車外アラームと同時にメール送信することができます。専用サイトから車両の位置情報、車内温度等をマップ上で確認できます。



警告

動作保証温度は-30℃～+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。

AIカメラによる自動録画 (BS-700C、HC-220DH-BS)

BS-700Ciは、AIカメラによりエンジン停止後60分間、車内の様子を付属のMicroSDカードに記録します。Wi-Fi接続することで人の動きを検知した時に、アプリ通知やメール通知の機能をご利用いただけます。詳しくは、AIカメラ付属の説明書をご確認ください。



警告

動作保証温度は-30℃～+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し-30℃以下の環境では利用しないでください。

確認音

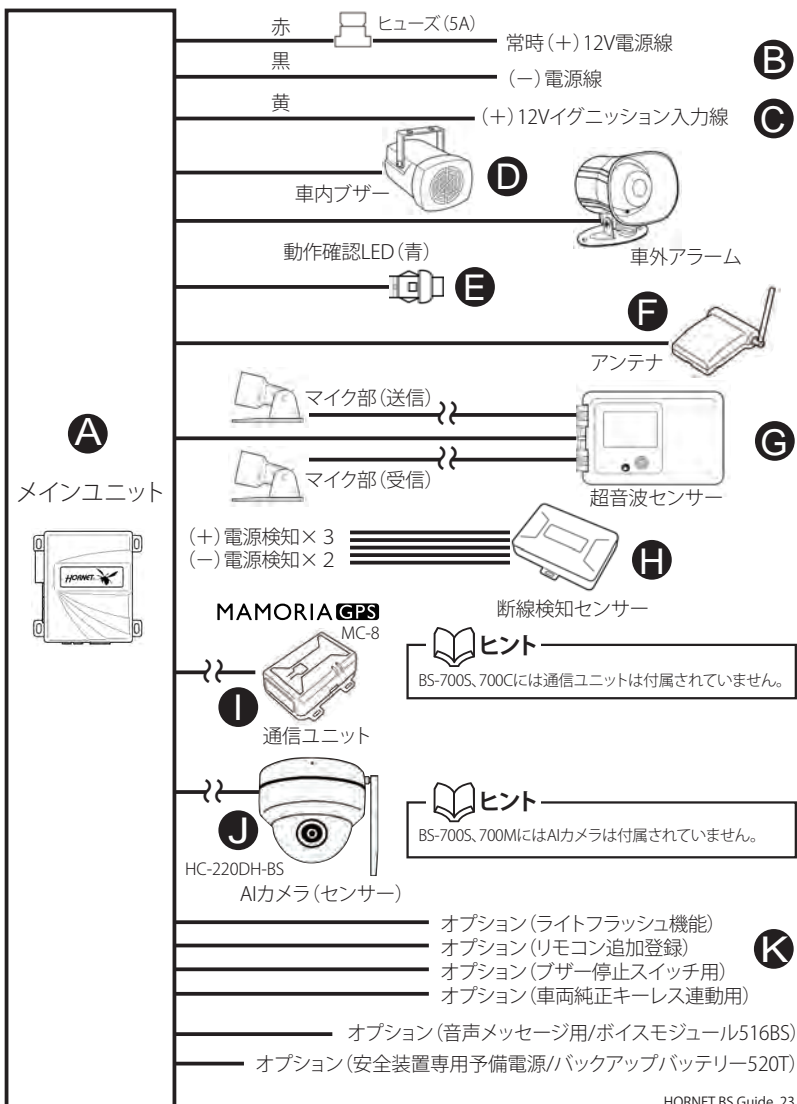
センサーの作動/解除の時に鳴る確認音です。音の回数で状態を知ることができます。

警告音 (2段階衝撃センサー検知時)

2段階衝撃センサーが弱い振動を検知した時に、車外アラームで警告音を鳴らします。“ピッピッピッピッ……”と音が鳴ります。

取り付けに関して

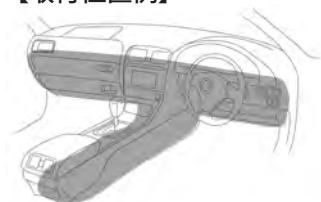
取り付け全体イメージ図 BS-700S/700M/700C



取り付けに関して

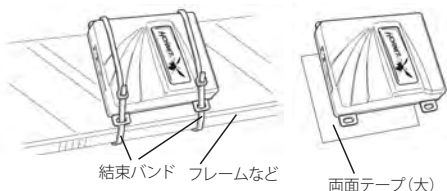
A メインユニットの取り付け

【取付位置例】



このエリアに取り付けします。

メインユニットをしっかりと固定します。



結束バンド フレームなど

両面テープ(大)

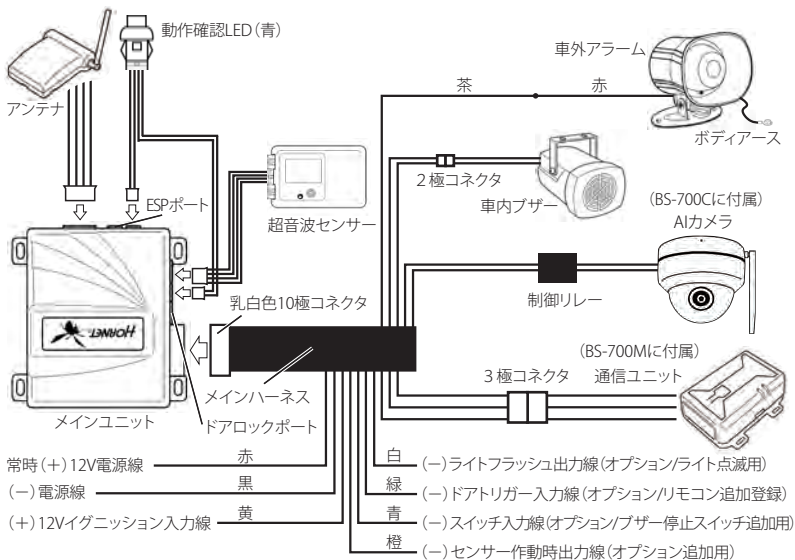
結束バンドと両面テープを併用することを推奨します。

禁止

- 本製品の動作保証温度は、 $-40^{\circ}\text{C} \sim +85^{\circ}\text{C}$ です。いたずら防止や安全装置保護、走行の妨げを防止するためエンジンルーム内やフロントガラスおよびリアガラス直下などの直射日光が当たる場所に設置しないでください。
- 運転席の足元(ペダルの裏など)、車両コンピューターやカーナビ、オーディオなどの電装品に近いところ、エアコンのダクトなどへ固定は絶対にしないでください。

A メインハーネスおよび接続全体図

メインハーネスの乳白色10極コネクタおよび各コネクタを図のように接続します。



取り付けに関して

B (+) 12V電源線の接続

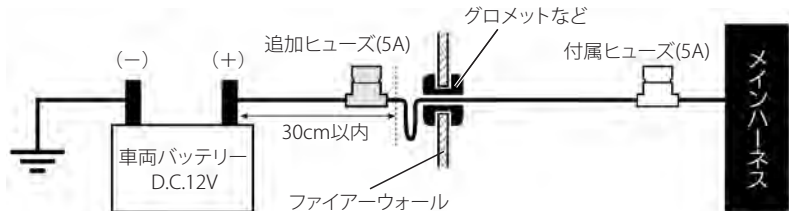
赤 (+) 12V電源線

電源接続をする前に、必ずメインハーネス付属のヒューズを抜いてから接続を行ってください。ヒューズは最終的に動作チェックをはじめるときに差し込んでください。

取り外したヒューズは、紛失しないように保管してください。

バッテリーの(+)ターミナル、またはイグニッションハーネス内の常時12V電源線などに接続します。

【接続例】 車両のバッテリーの(+)ターミナルに接続の場合



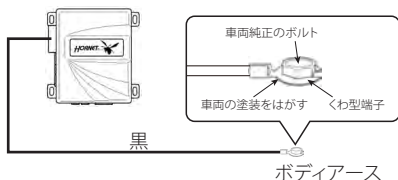
注意

- バッテリーから30cm以内に保護用のヒューズ(5A)を追加してください。
- 車両のボディコンピューターなどの設定がリセットする可能性がありますので、車両のバッテリーは外さないでください。
- メインハーネス付属のヒューズは、メインユニット保護用です。この目的以外には使用しないでください。
- 電源をオーディオなどと同様の配線から取得した場合、電源容量が足りなく動作しなかったり、ノイズなどの影響を受けることがあります。
- 車両のアクセサリ電源がD.C.24Vの場合は、市販のDCDCコンバーターをお買い求めください。

B (-) 電源線の接続

黒 (-) 電源線

メインユニットの(-)電源線を市販のくわ型端子を使用して車体のボディアースにボルト止めします。



注意

テスターなどでボディアースであることを確認してから接続してください。

取り付けに関して

C (+) 12Vイグニッション入力線の接続

黄 (+) 12V イグニッション入力

イグニッションキーを「ON」の位置にした時に (+) 12Vを示す線に接続します。



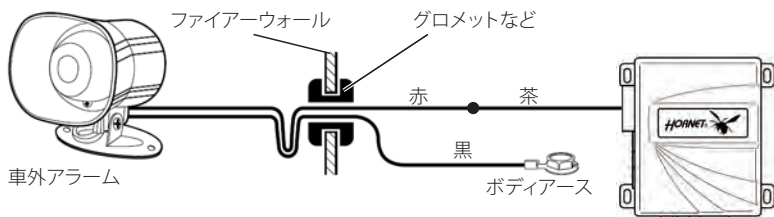
ヒント

- エンジン始動時 (セル始動) も (+) 12Vを示す線に接続してください。
- テスターなどでイグニッションキーをONにした時に (+) 12Vを示すことを確認してから接続してください。
- 車両電源がD.C.24V車の場合は、イグニッションキーをONにした時に、 (+) 12V信号が得られる市販のDCDCコンバーターをお買い求めください。

D (+) アラーム出力線の接続

茶 (+) アラーム出力線

配線を車内に引き込んだ後、車外アラームの赤線をメインユニットの茶線に接続します。車外アラームの黒線は、市販のくわ型端子などを使用して車体のボディアースにボルト止めます。



注意

エンジンルームから車内へ配線を通す際は、車内への水分などの浸入を防ぐため配線を貫通口の手前でたるませてから通してください。

取り付けに関して

D 車外アラームの取り付け

車外アラーム取り付けスペースを確認します。

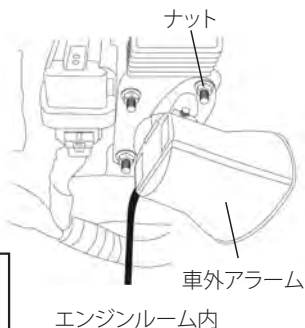
車外アラームは次の条件を満たす場所に設置してください。

- 雨天時、走行時などでも水・油分のかからないところ
- 熱源（エンジン本体、排気系など）から30cm以上離れ、高温にならないところ
- 駆動部の妨げにならないところ
- 車外アラームの音の妨げられないところ（車内に設置する場合でも音が外に抜けるところ）

注意

- 車外アラームは、-40℃～+125℃の動作を保証していますが、熱源（エンジン本体、排気系部品など）から30cm以上離れた高温にならないところに設置してください。
- 車外アラームが周辺部品に干渉していないか確認してください。
- 可動部にハーネスが接触していないか確認してください。

【車外アラーム取付例】



ヒント

- 車外アラームは固定金具部をボルトやナットを使用して確実に固定してください。
- スピーカー面をできる限り下向きに設置してください。上を向いていると水・油分が浸入して故障する可能性があります。

D 車内ブザーの取り付け

車内ブザーの取り付けスペースを確認します。

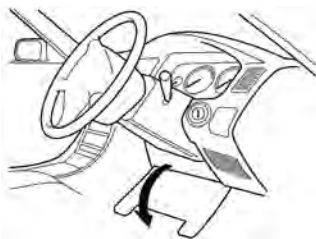
車内ブザーは次の条件を満たす場所に設置してください。

- ハンドルやペダルなど駆動部の妨げにならないところ
- 車内ブザーの音が妨げられないところ

注意

- 車内ブザーが周辺部品に干渉していないか確認してください。
- 可動部にハーネスが接触していないか確認してください。

【車内ブザー取付例】



ヒント

車内ブザーは、固定バンドを使用して確実に固定してください。

車内アンダーカバー内など

取り付けに関して

E 動作確認LED(青)の取り付け

動作確認LED(青)は、運転席まわりや、車外から確認しやすい場所に設置してください。

【設置・固定の流れ】

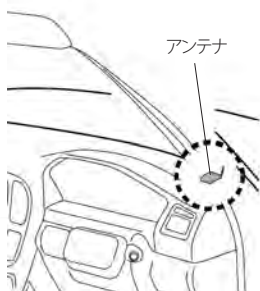
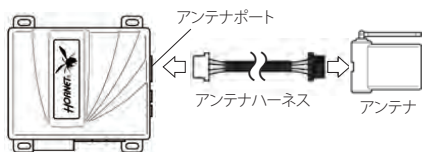
- ①LEDホルダーに動作確認LED(青)をはめこみます。
- ②LEDホルダーを両面テープで固定します。
- ③白色2極コネクタをメインユニットの白色2極ポートに接続します。
- ④青色2極コネクタをメインユニットの青色ポートに接続します。



F アンテナの取り付け

フロントガラス周辺(Aピラー)や中央(Bピラー)へ水平あるいは垂直に取り付けます。視界の妨げにならないように確実に固定してください。配線をパネル内に隠す場合には、配線がつぶれないように注意してください。

アンテナはアンテナハーネスに接続し、メインユニットのアンテナポートに接続します。



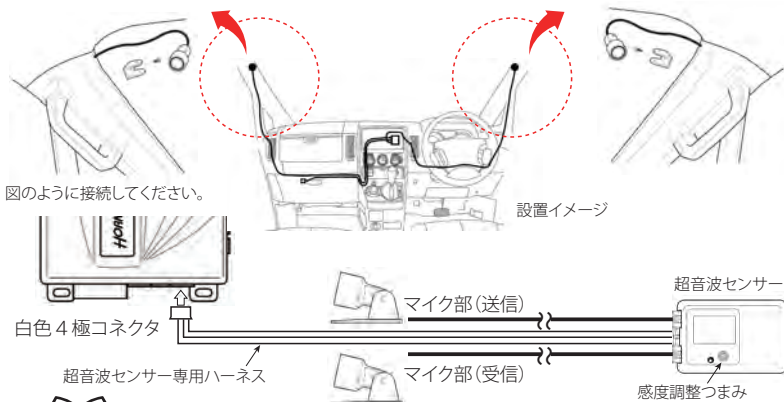
ヒント

- 金属部へ直接アンテナを貼り付けると電波の受信感度が鈍くなる場合があります。
- アンテナ線はできるだけ伸ばした状態で取り付けしてください。
- フロントガラスには貼付しないでください。
- 大型車両の場合は、アンテナハーネスを引き回し、なるべく後ろ側上部に設置してください。

取り付けに関して

G 超音波センサーの取り付け

超音波のバリアを張り、人や物の動きを検知することができます。



図のように接続してください。

設置イメージ



ヒント

- マイク部(TX/送信)のマイクから超音波を発信し反射してきた超音波をマイク部(RX/受信)で受信します。反射してくる超音波が変化した場合に約4mの範囲で検知します。
- 大型バスなどで、検知範囲を広げるためオプションの超音波センサーを追加で設置する場合は、マイク部をなるべく後部座席側の上部に設置してください。マイク部のケーブルは延長できませんので、超音波センサー専用ハーネスを延長加工してください。

メインユニット内蔵2段階衝撃センサーの感度調整

センサー用リモコンの操作で内蔵の2段階衝撃センサーの感度調整ができます。

【警報感度】センサー作動の後、3秒以内に ボタンを押す(3秒以上)と感度調整モードに入ります。

【警告感度】センサー解除の後、3秒以内に ボタンを押す(3秒以上)と感度調整モードに入ります。

※警報:30秒間車外アラームが鳴ります。警告:2秒ほど"ピッピッ"警告音が鳴ります。

感度調整モード (初期設定:警報感度1、警告感度11)

感度調整モードに入ると、確認音が"ピーピー"と鳴ります。5秒以内に ボタンと ボタンで感度の変更操作を行った後、5秒以上経過すると確認音"ピーピー"が鳴り感度変更完了です。

感度を上げる場合(最大15)



感度を下げる場合(最小0)



ボタンを押す(1秒)ごとに感度が上がります。

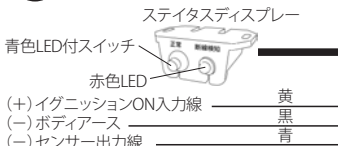
DOWN



ボタンを押す(1秒)ごとに感度が下がります。

※感度調整中に最大15、最小0になると"ピーピー"と音が変わります。

H 断線検知センサーの取り付け



△注意:ステイタスディスプレイは、運転者などがエンジン始動時に確認しやすいエリアに設置してください。

ヒント

詳細は、付属の説明書をご参照ください。



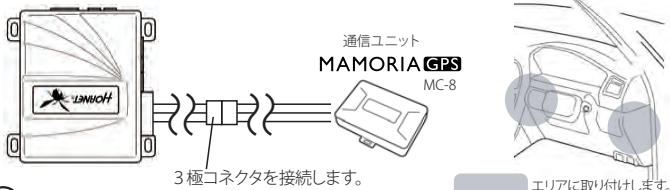
断線検知センサー

赤	(+) メインユニット (制御装置)
赤	(+) 車内プザー
赤	(+) 車内センサー
黒	(-) メインユニット (制御装置)
黒	(-) 車外アラーム

△注意:電圧変動のある制御線には接続しないでください。

I 通信ユニット (MAMORIA GPS MC-8) の取り付け

通信ユニット (MAMORIA GPS MC-8) の固定をした後、コネクタを接続します。

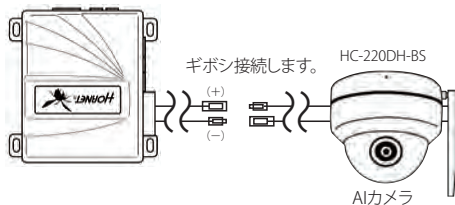


禁止

- 動作保証温度は-30℃～+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。
- 通信ユニットは、金属からなるべく離して固定してください。性能低下を招く場合があります。

J AIカメラ (HC-220DH-BS) の取り付け

AIカメラ (HC-220DH-BS) を固定した後、配線をギボシ接続します。



禁止

動作保証温度は-30℃～+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。

ヒント

AIカメラの固定方法については、付属の説明書をご参照ください。

ヒント

- AIカメラ付属の固定用ステー (取付板) を車両の天井などに付属のタッピングネジなどで固定します。
- 車両によりアンカーが必要な場合は使用してください。
- カメラケーブルの保護に必要な部材は、別途ご用意ください。



取り付けに関して オプション

K (一) ライトフラッシュ出力線 (ライト点滅用)



本製品は、525Tや451Mのライトフラッシュオプションを追加することで、車外アラーム鳴動時に車両ライトを点滅することができます。灯光で周囲に知らせることができます。

メインユニット  白  車両ターンランプなど

詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

K (一) ドアトリガー入力線 (リモコン追加登録用)

本製品は、プザー停止用リモコンやセンサー専用リモコン(黒)、管理用リモコンを追加登録することができます。リモコンを追加登録する場合は、メインハーネスの緑線を接続してください。

メインユニット  緑  運転席ドアスイッチ

詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

※ドアが開いた時にボディアース信号が得られる線に接続します。

※リモコンの購入にはユーザー登録(あんしんサポート一般会員 P34参照)が必要です。

K (一) スイッチ入力線 (プザー停止用スイッチ追加用)

本製品は、物理的なスイッチ(ボタン)を使って車内プザーを停止することができます。

メインユニット  青  プザー停止用スイッチ(別売)  ボディアース



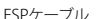
詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

※スイッチを押した時のみボディアースに導通するようにしてください。

※スイッチが押し続けられた場合や固着時には、安全装置の入力時間に制限を設けており、次回の車内プザーが鳴る安心設計です。

K (一) センサー作動時出力線 (車両純正キーレス連動用)



ESPスマートインターフェース455Vを追加することで車両純正キーレスのロック/アンロック操作に連動して自動検知式センサーの作動/解除することができます。

メインユニット  橙  ESPスマートインターフェース455V(別売)  ESPケーブル

詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

K 音声メッセージ/ボイスモジュール516BS



ボイスモジュール516BSを追加することで降車時確認式の車内プザーに加え、音声によるメッセージを追加することができます。断線検知のステータスディスプレイの状況も音声で確認できます

メインユニット  黄  ボイスモジュール516BS(別売)

詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

K 予備電源/バックアップバッテリー520T

バックアップバッテリー520Tを追加することで、車両バッテリーからの電源供給が絶たれても、予備電源により安全装置の動作を維持することができます。また、電源喪失の検知ができます。

メインユニット  赤  バックアップバッテリー520T(別売)

詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

FAQ、トラブルシューティング

FAQ

質問	回答
車内センサーを追加できますか？	追加することができます。大型車両の場合、オプションの超音波センサー509U、ダブルガードショックセンサー504Dを追加することで広範囲を検知することができます。
車内ブザー、車外アラームの音量を小さくできますか？	音量を小さくすることはできません。車内に置き去りになっていることを周囲に知らせるため周波数の異なる6音色で周囲に異常を知らせることができます。
D.C.24Vのバスでも利用できますか？	利用できます。本製品はD.C.12V専用のため、市販のDCDCコンバーター（常時24VとACC電源をD.C.12Vに変換できるもの）を別途お買い求めください。
リモコンは何個登録できますか？	全部で4個までリモコンを登録できます。あらかじめ3個登録されていますので、1個追加することができます。故障時は交換登録できます。
BS-700S、BS-700Cに後から緊急通報機能を追加することはできますか？	追加できます。セキュリティラウンジオンラインショップにてMAMORIA GPS MC-8および通信1年プランもしくは3年プランをお買い求めください。
リモコンのボタン電池はどれくらいの期間使えますか？	新品のボタン電池（CR2032）で約1年、（CR2450）で約3年ご利用いただけます。リモコン付属の電池は試験用のため必要に応じて新品の電池に交換してください。
車内センサーの超音波センサーは、大型バスの後部まで届きますか？	超音波センサーの検知範囲は、およそ4mです。大型バスなどの大きな車両の場合、後部まで届かない場合があります。その場合は、オプションの超音波センサー509Uを追加してください。
ブザー停止ボタンの操作以外に車内ブザーを止める方法はありますか？	エンジンを始動することで車内ブザーは止まります。エンジンを停止した後、車内ブザーを止めるには後部にあるブザー停止用ボタンを押す必要があります。オプションでブザー停止用スイッチを追加することができます。詳しくはP31をご参照ください。
メンテナンス時に車内ブザーを鳴らなくすることはできますか？	メンテナンスモードをご利用ください。1回のみ降車時確認式、自動検知式の機能がキャンセルされます。詳しくはP15をご参照ください。

トラブルシューティング

症状と原因	対策
リモコンの操作ができません	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンの電池を交換してください。リモコン付属の電池は試験用の電池です。電池残量が少なくなっている可能性があります。 ・アンテナが金属に触れている可能性があります。金属から離して設置してください。なるべく高い位置に設置してください。
超音波センサーが反応しません	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーが作動してから5秒以上待ってください。作動後5秒間は待機時間となります。5秒以上経過してからセンサーの反応を確認してください。 ・超音波センサーの感度を本体調整つまみを右に回して感度を敏感にしてください。 ・マイク部（送信）、マイク部（受信）の向きを確認してください。大きく下向きであったり上向きの場合、超音波を受信できない可能性があります。 ・マイク部にほごりやゴミが混入している場合は、綺麗に取り除いてください。
2段階衝撃センサーが反応しません	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーが作動してから5秒以上待ってください。作動後5秒間は待機時間となります。5秒以上経過してからセンサーの反応を確認してください。 ・2段階衝撃センサーの感度調整を行ってください。

製品の仕様について

製品仕様


製品名	ホーネット車内置き去り防止安全装置	ホーネット車内置き去り防止安全装置（緊急通報付）	ホーネット車内置き去り防止安全装置（AIカメラ付）
型式	BS-700S	BS-700M	BS-700C
主な機能	降車時確認式 降車未確認検知 自動検知式 断線検知センサー ステイタステイスプレ－ 車内センサー 車内ブザー鳴動 車外アラーム鳴動 動作確認 LED（青）	降車時確認式 降車未確認検知 自動検知式 断線検知センサー ステイタステイスプレ－ 車内センサー 車内ブザー鳴動 車外アラーム鳴動 動作確認 LED（青） 緊急通報メール 温度監視 GNSS 位置情報他	降車時確認式 降車未確認検知 自動検知式 断線検知センサー ステイタステイスプレ－ 車内センサー AI ヒューマノイドセンサー 車内ブザー鳴動 車外アラーム鳴動 動作確認 LED（青） AI カメラ（車内録画） アプリ通知（Wi-Fi 接続時） メール送信（Wi-Fi 接続時） 専用アプリ（無料）
電源電圧（動作電圧）	D.C.12V (D.C.9V～15V)	D.C.12V (D.C.9V～15V)	D.C.12V (D.C.9V～15V)
リモコン用電池	CR2032（1個）	CR2032（1個）	CR2032（1個）
ブザー停止用ボタン電池	CR2450（1個）	CR2450（1個）	CR2450（1個）
平均消費電流（待機時）	約 19mA ※断線検知 ※動作確認 LED（青）含む	約 24mA ※断線検知 ※動作確認 LED（青） ※通信ユニット含む	約 19mA ※断線検知 ※動作確認 LED（青）
最大消費電流（ブザー時）	約 170mA	約 170mA	約 170mA
最大消費電流（アラーム時）	約 1A	約 1A	約 1A
最大消費電流（緊急通報時）	—	約 1A	—
最大消費電流（AIカメラ動作時）	—	—	約 300mA
最大ブザー音圧	約 100dB	約 100dB	約 100dB
最大アラーム音圧	約 128dB	約 128dB	約 128dB
使用周囲温度（動作保証温度）	約-40℃～+85℃	約-40℃～+85℃ （通信部：約-30℃～+70℃）	約-40℃～+85℃ （カメラ部：約-30℃～+70℃）
リモコンサイズ（ブザー停止用）	約 64×34×13mm	約 64×34×13mm	約 64×34×13mm
リモコンサイズ（センサー用・管理用）	約 46×36×12mm	約 46×36×12mm	約 46×36×12mm
メインユニット外形寸法	約 78×76×26mm	約 78×76×26mm	約 78×76×26mm
メインユニット質量	約 68g	約 68g	約 68g


※メインユニット部：道路運送車両の保安基準 第 43 条の 5 技術基準別添 78 に準拠

ブザー停止用リモコン 495V：  R 008-230431

通信ユニット MC-8：  T 017-0312001
 R 001-A12347

 R 008-230432

AIカメラ HC-220DH-BS：  R 210-192104

センサー用リモコン 493V II (B)：  R 008YUA080117
管理用リモコン 493V II (R)：

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
 - ご登録いただけますと製品保証の延長など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。
- <https://shop-security-lounge.com/shopdetail/0000000000080/>



保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。ご購入の際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 故障とお考えの前に、販売店・取付店または当社へご相談ください。
- 修理をご依頼の際は下記の事項をあらかじめ確認し、保証書と署名捺印済みの安全管理マニュアルの写しを必ずご提示ください。

- 1 製品名およびシリアル番号
(例: HORNET BS-700S 0012345678)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載および署名捺印
- 6 装着した車両の車種、年式、型式、車体番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年(動作保証期間は3年または5年)です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので、販売店・取付店までお問い合わせください。

お問い合わせ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>

HORNET BS Guide 34



《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口へ直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたは販売店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、弊社カスタマーセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10